

大人生活の甘さを知ると
ほろ苦さを
たしなむ

【指揮】松村秀明
【ピアノ】細川千尋
【ドラム】石川 智
【オーケストラ】大阪交響楽団
【ナビゲーター】羽川英樹

エリントン
A列車で行こう★
クロス
映画『ミスター・アーサー』より
「ニューヨーク・シティ・セレナーデ」★

エリントン
スウィングしなけりゃ意味がない

ジョプリン
ジ・エンターテイナー

ガーシュウィン
サマータイム
アイ・ガット・リズム

バーンスタイン
映画『ウェストサイド物語』より「アメリカ」

チャップリン
映画『ライムライト』より「エターナリー」
映画『モダン・タイムス』より「スマイル」

アームストロング
映画『グッドモーニング、ベトナム』より
「この素晴らしき世界」

ロータ
映画『ゴッドファーザー』より 愛のテーマ

ブラウン
映画『雨に唄えば』より「雨に唄えば」

ほか

★ピアノ・ソロ

LIGHT SYMPHONIC CONCERT

ライト・シンフォニックコンサート ～大人の贅沢～

2018 2.14 (水) 7:00PM開演
(6:20PM開場) S席 5,400円 A席 4,320円(税込)

ザ・シンフォニーホール

主催：ザ・シンフォニーホール／一般社団法人 大阪交響楽団

【ご予約・お問合せ】

■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (10:00～18:00 火曜定休) <http://www.symphonyhall.jp>

発売日 2017年9月24日(日)10:00～
【Sinfonia会員先行 9月21日(木)】

【プレイガイド】

■ 大阪交響楽団 072-226-5522 (平日10:00～17:00) <http://sym.jp>

■ e+ (イープラス) <http://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯) ■ チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 338-431]

■ ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード: 54434] 0570-000-407 (オペレーター対応 10:00～20:00)

※未就学児のご入場は御遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



ライト・シンフォニックコンサート～大人の贅沢・アメリカ～

バレンタイン・デーの夜、ザ・シンフォニーホールステージに戻って来るのは、ジャズピアニストの細川千尋。モントルー・ジャズ・フェスティバルのコンペティションで日本人女性初のファイナリストとなって注目を集めて以来、国内外で活躍しているジャズ界の新星だ。

今回のテーマは「アメリカ」。エリントン《A列車で行こう》、ガーシュウィン《サマータイム》などのジャズのスタンダードナンバー、『ウェストサイド物語』、『ライムライト』、『モダン・タイムス』などの映画を彩った名曲の数々が、大阪交響楽団の華やかなサウンドと細川千尋のみずみずしい演奏で鮮やかに描き出される。哀愁に満ちたメロディ、生命力にあふれたリズム、ジャンルを超えた多彩なプログラムが、懐かしい日々の素敵な思い出を甦らせてくれることだろう。

大人のバレンタイン・デー、洗練された空間に響く極上の音楽を大切な人とお楽しみください。

文 森岡 葉



細川 千尋 [ジャズピアノ] CHIHIRO HOSOKAWA

富山県出身。幼少よりピアノが大好きで、時間があればピアノに向かっていた。数々の賞を受賞し、2013年には、スイス、モントルー・ジャズ・フェスティバル・ソロ・ピアノ・コンペティションにて、日本人女性初のファイナリストとなる。同年11月、地元富山でソロコンサートを行い、モントルー・ジャズ・フェスティバル・イン・かわさきでは、チュー・チョ・ヴァルデス公演のオープニングアクトを務め、連弾で共演。2014年4月にはアルテリッカしんゆり芸術祭にてソロコンサート、8月にはミュゼ川崎シンフォニーホールでガーシュウィン/ラブソディ・イン・ブルーをオーケストラと共演。9月、モントルー（スイス）で行われたセプテンバー・ミュージックにソロで出演。川崎市アゼリア輝賞受賞。同年11月21日、全曲ソロピアノ・オリジナル作品のデビューCD「Thanks!」をイノセントミュージックより発売。これまでに、イタリア・スイス・ベルギーでソロリサイタルを開催。幅広いジャンルの演奏活動を国内外で行っている。クロスオーバーなオリジナル曲とトークも交えたソロピアノコンサートは、高い評価を得ている。2016年2月に発表されたセカンドアルバム、「I'm home!」も好評発売中。昭和音楽大学大学院修了。現在、昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミーに在籍。江口文子氏に師事。

松村 秀明 [指揮] HIDEAKI MATSUMURA

慶應義塾大学法学部卒業。大学在学中より洗足学園音楽大学附属指揮研究所にて学ぶ。これまでに指揮を秋山和慶、河地良智、増井信貴、湯浅勇治の各氏に師事。2006～2008年の「アフィニス夏の音楽祭」に指揮研究員として参加。2010年度は紀尾井シフォニエッタ東京で研鑽を積む。第11回アントニオ・ベドロツェ国際指揮者コンクールで第3位入賞。これまで大阪交響楽団、神奈川フィル、九州交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、仙台フィル、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京フィル、広島交響楽団等を指揮。2012年にはイタリアのボルツァーノ＝トレント・ハイドン管弦楽団に招かれて3公演を指揮、大好評を博す。



大阪交響楽団 OSAKA SYMPHONY ORCHESTRA

1980年創立。永久名誉楽団代表・敷島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!」を提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2010年4月に楽団名を「大阪交響楽団」と改称。2012年4月に支援組織と楽団を統合し、一般社団法人大阪交響楽団となった。

2015年4月には二宮光由が楽団長・インテンドントに就任。さらに2016年4月からは、日本楽壇最長老の外山雄三がミュージック・アドバイザーに就任、常任指揮者の寺岡清高氏（2000年ミトロプロース国際指揮者コンクール優勝）の両指揮者陣のもと、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

楽団公式ホームページ (<http://sym.jp>)



羽川 英樹 [フリーアナウンサー] HIDEKI HAGAWA

1953年京都市生まれ。同志社大学を卒業後、読売テレビにアナウンサーとして入社。「11PM」「2時のワイドショー」などの全国ネット番組を担当。1993年にフリーに。現在は関西を中心にテレビ・ラジオをはじめ講演活動も精力的にこなす。学生時代から20年に渡って合唱団で指揮者を務めた経験を活かし、音楽イベントの企画やナビゲートも数多く手がける。また自らもフォークデュオを結成し、各地で演奏活動も行っている。

